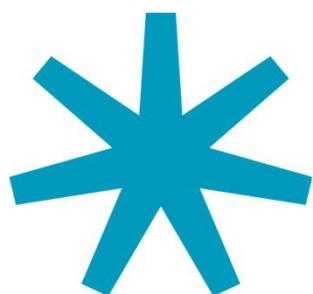


# 燃料供給に対する課題について



Hokkaido  
Airports

2024年 6月26日

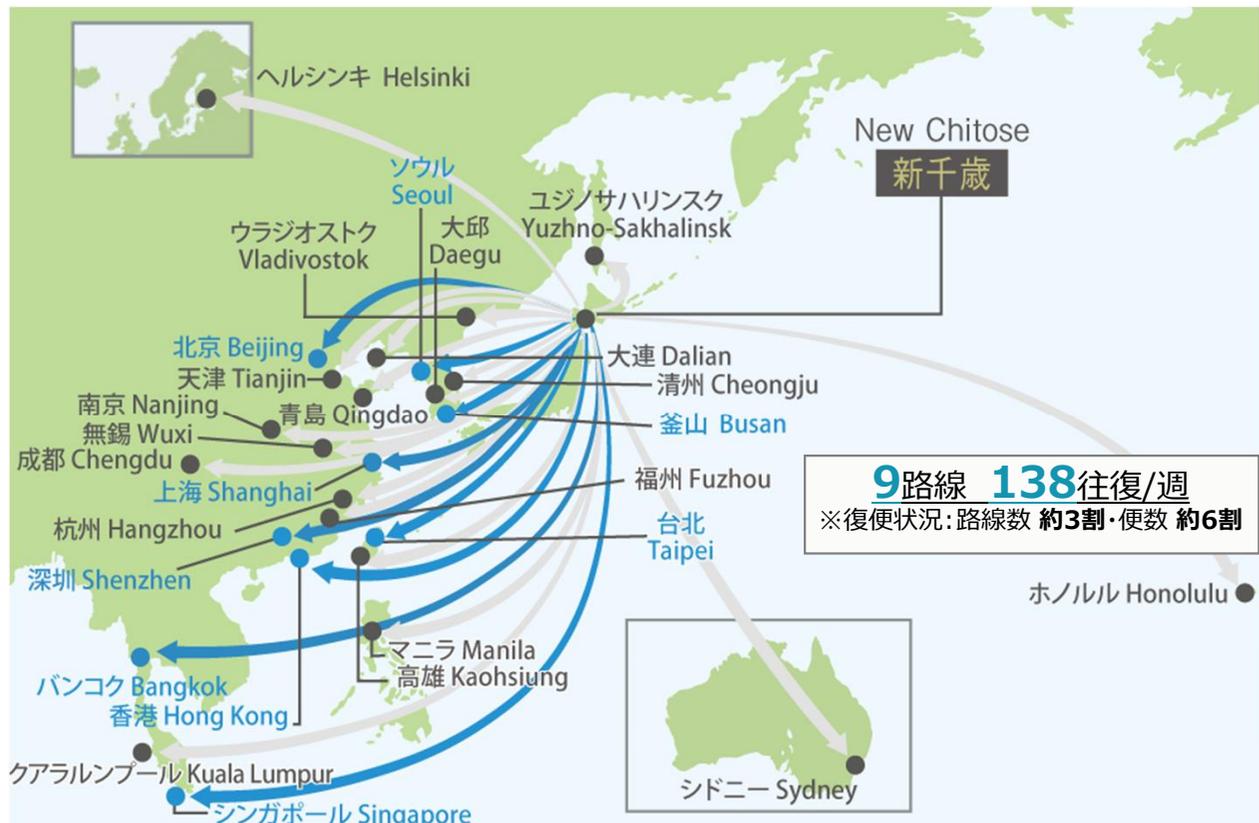
北海道エアポート株式会社

# 【北海道エアポート】 国際旅客定期便（新千歳空港・函館空港・旭川空港） 運航状況

◆コロナ禍以降（2022年7月）の定期便復便・新規就航は以下の通り。



## 新千歳空港の就航状況(2024年6月17日時点)



**9路線 138往復/週**  
 ※復便状況: 路線数 約3割・便数 約6割

→ コロナ禍以前（19年冬季スケジュール）の運航計画路線  
 → 24年6月時点の就航路線

## 新千歳空港 6月17日時点

地域	路線	航空会社	就航日	運航/週
韓国	ソウル	大韓航空	22/7/17	(14)
		ティーウェイ航空	22/7/21	(7)
		アジアナ航空	22/8/4	(7)
		済州航空	22/10/30	(14)
		ジンエアー	22/12/1	(11)
		エアバスン	23/6/23	(7)
韓国	釜山	エアバスン	22/11/30	(7)
		ジンエアー	23/10/29	(7)
台湾	台北	チャイナエアライン	22/8/26	(7)
		タイガーエア台湾(新規)	22/10/16	(7)
		スターラックス航空(新規)	22/10/28	(7)
台湾	台北	エバー航空	22/12/1	(7)
		香港航空	22/11/4	(3)
香港	香港	キャセイパシフィック航空	22/12/1	(5)
中国	北京	中国国際航空	23/7/11	(5)
		春秋航空	23/7/8	(3)
		中国東方航空	23/9/27	(7)
		上海吉祥航空	23/12/26	(3)
中国	上海	深圳航空	24/1/18	(3)
		タイ	バンコク	タイ国際航空
シンガポール	シンガポール	スクート(台北経由)	22/11/1	4往復 (4)
<b>9路線</b>		<b>19社</b>		<b>138往復/週</b>

※コロナ禍前(20年1月): 26路線・217往復/週

## 函館空港

台湾	台北	タイガーエア台湾	23/5/12	10往復 (5)
		スターラックス航空(新規)	24/2/1	(5)

※コロナ禍前(20年1月): 1路線・12往復/週

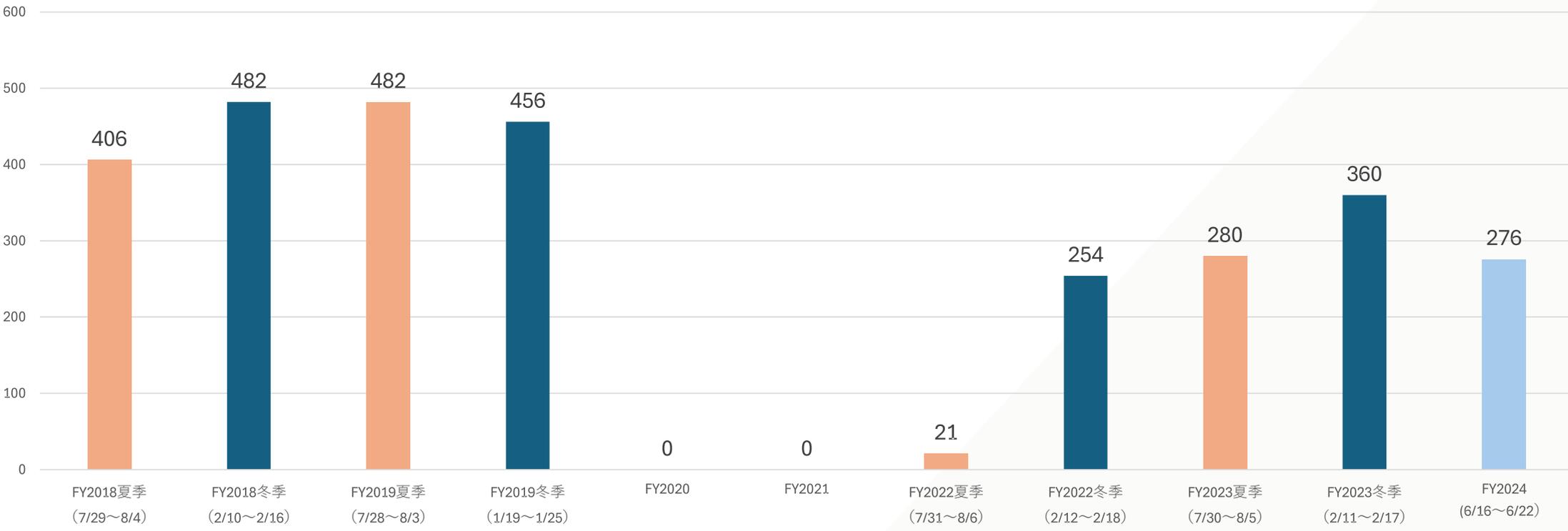
## 旭川空港

台湾	台北	タイガーエア台湾	23/5/9	2往復
----	----	----------	--------	-----

※コロナ禍前(20年1月): 1路線・3往復/週

# 【新千歳空港】国際線ピーク週便数推移（FY2018～FY2024直近）

単位：便

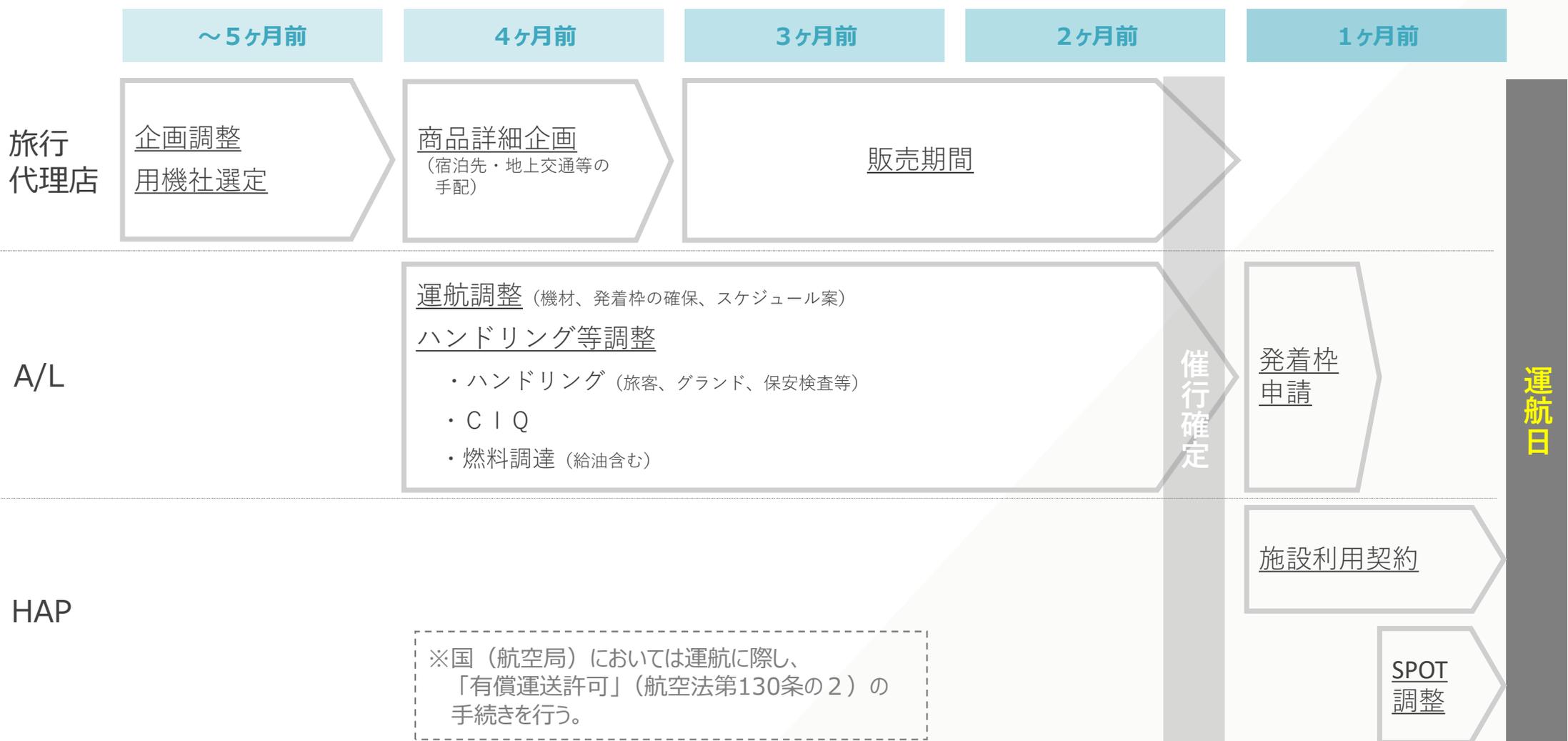


(出典：2018・2019年度CAB保管データ／2022～2024年度operation report)

# 【国際定期便】 運航までの基本的な流れ（新千歳空港の場合）



# 【国際チャーター便】 運航までの基本的な流れ（新千歳空港の場合）



運航日

# 【新千歳空港】 給油施設の状況

## ■ 給油施設運営事業者：千歳空港給油施設（株）について

千歳空港給油施設株は、新千歳空港で使用するジェット燃料を石油元売り会社様からお預かりし、**燃料の品質管理**および**施設の保守管理**を行い、安全かつ迅速に燃料を航空機に供給する施設の運営を行っております。

また**国内の空港では数少ない「ハイドラントシステム」を導入**しており、効率的な施設の制御・監視の下、航空機の駐機場所まで燃料を圧送し、給油会社様が迅速に燃料を航空機へ給油することにより、空港におけるグランドハンドリング業務の効率化に寄与しております。



### 会社概要

設立	昭和52年8月5日
資本金	2億円
出資者	北海道エアポート株式会社 100%
主な事業内容	航空機に対する給油施設の保有賃貸並びに運営 石油製品（JET A-1）の貯蔵管理 他